

『県営鳴石アパート完成 ~環境と共生した初めての木造県営住宅~』

建築住宅課



◆県営鳴石アパートは
こういうところにあります

建設地の陸前高田市は、岩手県の南東部に位置し、東は大船渡市、北は住田町、南は宮城県の気仙沼市に隣接しています。三陸海岸特有のリアス式海岸で、2kmに及ぶ砂浜が続く「名勝高田松原」を有し、陸中海岸国立公園の南玄関口となっています。年平均気温11℃を超え、シュロ・ビワなどが生育し、野生の椿が厳寒に紅い花を咲かせる県内では最も温暖な気候です。

団地からは、半径2kmに公共・教育・医療・商業・金融施設があり、日常生活に必要な施設が揃っています。

◆ 鳴石アパートの建築計画のポイント

県営鳴石アパートは、これまで岩手県住宅供給公社が、環境共生型の住宅団地として整備を進めてきた「エコタウン鳴石」を建設地とし、**環境への配慮**をコンセプトに、県営住宅では初めての木造公営住宅となっています。

岩手県はこの住宅を通じて、**環境共生住宅の普及・啓発**を進めています。

○ 室内環境への配慮

- ・ 住棟の雁行や風楼を設けることにより、独立感と採光・通風の確保を図った設計
- ・ 深い軒の出とすることで、夏季の太陽光の侵入を抑える
- ・ 全戸バリアフリーとした、人にやさしい設計
- ・ 有害化学物質の無い天然素材建材（県産木材・珪藻土等）の活用

○ 地域環境への配慮

- ・ 全戸の前面に雨水の貯水を行い、洗車・散水に再利用が可能
- ・ 透水性舗装を採用した団地内通路の設置
- ・ 緑化による、景観の向上
- ・ 気仙地方を象徴する北限のお茶の木を植え、管理することによる、新しいコミュニティの創設

○ 地球環境への配慮

- ・ 木材の活用でCO2削減とストックを図る（一部大断面集成材パネル工法）
- ・ 太陽光発電を利用した庭園灯
- ・ 高い断熱仕様とすることによる省エネルギー化

県営鳴石アパート



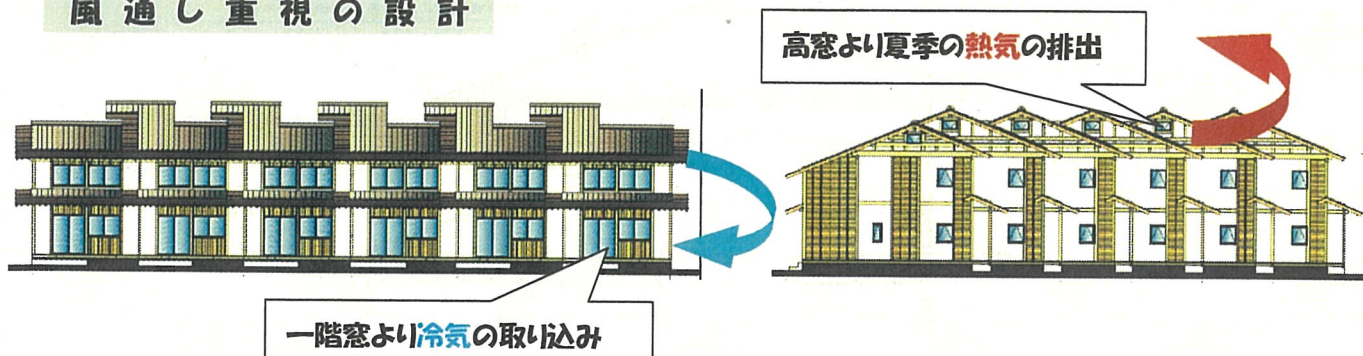
住戸内部の様子



大断面集成パネル

◆ 鳴石アパートの特徴

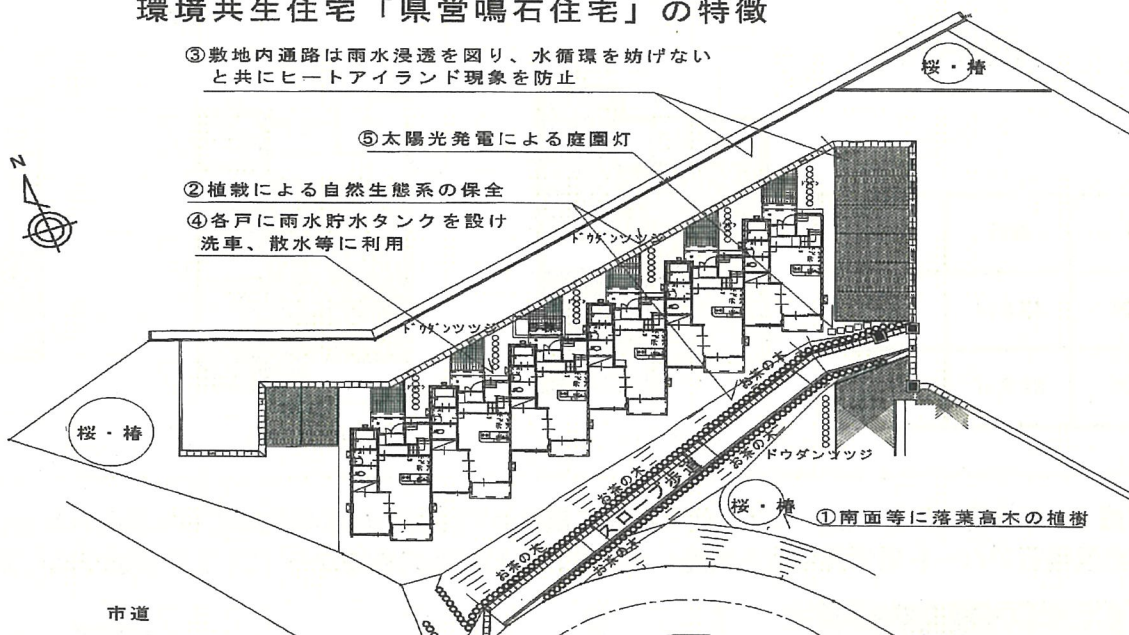
風通し重視の設計



外部の工夫

環境共生住宅「県営鳴石住宅」の特徴

③敷地内通路は雨水浸透を図り、水循環を妨げないと共にヒートアイランド現象を防止



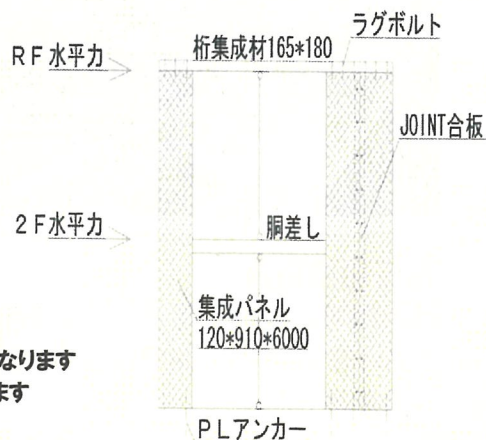
○ 大断面集成材パネル工法とは？

大断面集成材パネルと基礎をPLアンカーで緊結し、頭部は桁とラグボルトで固定します。パネル間の縦ジョイントは、パネル厚の中間相互に構造用合板を入れてボルトで縫い合わせます。

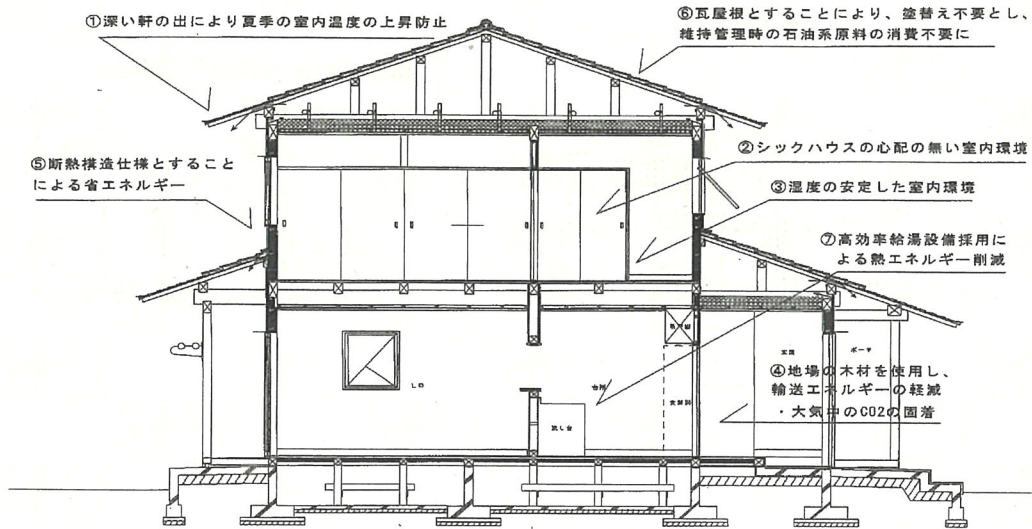
パネルが無い部分は在来工法であり、水平力は全てパネルが負担します。

○ 大断面集成材パネル工法は環境住宅

- ・木は、二酸化炭素を吸い、炭素を蓄え酸素を放出して育ちます
- ・木材の重量の1/2が炭素です
- ・木は、建築資材になるまでのエネルギーが0です
- ・この工法は木材(小径木)を多量に使用します
- ・小径木を集成して大断面にすることで、間伐が進み、山に手が入ります
- ・内外壁の仕上げ材や断熱材が不要で、それらの製造エネルギーの削減になります
- ・構造的に優れ、安全安心の長寿命住宅となり、長期に渡り炭素を固定します
- ・もちろん集成材の接着剤はF☆☆☆☆製品です
- ・出来た後の省エネも大事ですが、造るまでの省エネも大事なことです



内部の工夫



◆ タイプ別平面図

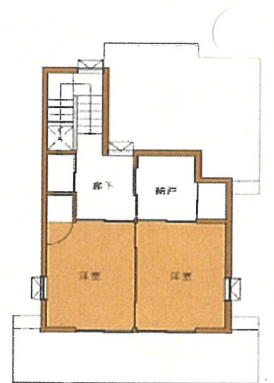
間取り	面積	戸数
1LDK	43.8 m ²	8戸
3LDK	82.8 m ²	12戸



1LDK タイプ



3LDK タイプ1階



3LDK タイプ2階

平成20年3月15日(土)には、住宅建設に携わる関係者及び環境共生住宅に関心のある県民を対象に県営鳴石アパート現場見学会を実施しました。当日は県内各地から187名の参加がありました。



★入居者募集情報

〈募集期間〉 …… 平成20年4月14日(月) から 4月18日(金)まで

〈問合せ先〉 …… 財団法人 岩手県建築住宅センター(指定管理者) 電話 0120(208)201

〈募集情報HP〉

http://www.pref.iwate.jp/~hp0608/D_jyutaku/2nd/D0703bosyuu.htm